

住吉神社の能舞台

兵庫県・明石市



明石海峡を望む住吉神社は、屏風が浦海岸の西端の丘陵地に建ち、海に向かってそびえ立つ鳥居からの眺望が素晴らしい。4世紀頃神功（じんぐう）皇后が朝鮮半島への遠征途中に播磨灘で暴風雨に遭い、この海岸に立ち寄って住吉大明神に平穏を祈願したところたちまち悪天候が収まったので、皇后が住吉大明神を祀ったのがこの神社の始まりとされ、漁業漁村と密接に関わる海の神を祀る神社である住吉神社発祥の地といわれている。

境内には明石城主小笠原忠真が江戸時代に建立した能舞台があり、明石市内で唯一残存する能舞台として、昭和51年（1976年）に明石市有形民俗文化財に指定された。この能舞台では、明治時代までは祭礼や雨乞いのときに能が、また大正時代には春祭りに狂言が奉納されてきたが、昭和12年（1937年）を最後にながらく中断していたのを氏子や愛好家によって昭和49年（1974年）から復活し、以来毎年5月1日に能楽会が上演されている。

TOPICS

・奉納能楽会 5月1日 開催

本殿裏には立派な藤棚があり、5月上旬には1メートルを超える花房をゆらせて咲き誇り、能楽会に花を添えている。

お問い合わせ先

明石観光協会

TEL / 078-918-5080

URL / <http://www.yokoso-akashi.jp/>

【交通】

徒歩 / 山陽電鉄 魚住駅から徒歩5分

